

I C T学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立浪岡養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	世界のさまざまな地域		
	単元(題材)の目標	世界各地における人々の生活の多様性を、自然及び社会的条件と関連付けて理解する。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1 年 3 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲が高く、何事にも興味をもって取り組む。 ・視野障害及び難聴、右片麻痺を有する生徒がおり、読み書きにかかる時間に実態差がある。 		
I C T活用について	使用した支援機器・教材の名称	・電子黒板、パソコン、タブレット端末、デジタル教科書（中学校地理 東京書籍）		
	使用したアプリケーションの名称	デジタル教科書（中学校地理 東京書籍）		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T活用のねらい	視野障害及び難聴を有する生徒を含む集団学習において、電子黒板やデジタル教科書で文字や図形等を拡大して提示することで、全員が同じペースで学習に参加し基礎的・基本的な学習内容を理解できるようにする。			
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句や地図、視聴覚資料を電子黒板で大きく提示した。 ・デジタル教科書を読むときは、読む範囲を大きくして読めるようにした。 			